

苦小牧東病院

企業主導型保育園を新設

既存の院内施設を拡充

開園後に地域受け入れ検討

苦小牧東病院（苦小牧市明野新町）を運営している社会医療法人平成醫塾（いじゅく）は、同病院近くの敷地に企業主導型保育園のペンギン保育園（仮称）を建設している。企業主導型保育園は市内3カ所目。同病院職員の子どもの24時間受け入れて働きやすい職場づくりを目指し、4月に開設する。開園後、ニーズを見極めながら、地域の子どもの受け入れも検討する。

建設地は明野新町4の同病院駐車場で、鉄骨造り平屋建て約530平方メートル。生後57日目から小学校就学前までを対象とする。定員82人。休園日は年末年始のみで、それ以外は夜間や土日祝日も預かる。小学校入学準備のための学習教室も開き、3歳以上は文字や数字、英語、体操など幼稚園に準じた教育カリキュラムを別途費用負担で受けられる。運営はプライムツーワン（札幌市）に委託する。

同法人の職員数は約390人。すでに定員30人の院内保育所を設けているが、受け入れ対象の子どもが90人いるため、利用は看護師とリハビリスタッフに限定している。今回、園を新築して定員を拡充することで全職員を対象とする。鈴木則彦事務長は「保育園や育児休暇の充実で出産して



ペンギン保育園の完成予想図

も働きやすい環境を整えれば、職員の定着率が高まり、質の高いケアを提供できると期待。開園後、1〜2年た

って定員に空きが出来れば、地域の子どもの受け入れも検討する。

「企業主導型」は、企業が主に従業員向けに設ける保育園。市内には苦小牧キラキラ保育園（オーティス）、苦小牧みらい保育園（トヨタ自動車北海道）がある。